

各学科の紹介

2)普通科について

1 特徴

(ア) 少人数クラスによる基礎学力の向上と応用力の伸長

県立高校の定員は40名で1クラスですが、波佐見高校は60名の普通科生徒を2クラスに分けています。そのため、先生方の目が生徒一人ひとりに届きやすく、またわかりやすく丁寧な学習指導が可能となっています。

また、1年次の最初は、中学校でつまずいた所を中心に基礎基本を学び直します。このように中学校の復習を繰り返すことで、高校学習に対する心構えや学力が身につきます。

一方、ある一定以上の学力がある生徒には、校外模試など、その力を伸ばすための指導も充実しています。

学力を身につければ、就職にしろ、進学にしろ、進路希望は必ず達成されます。



(イ) 部活動と勉強の両立

波佐見高校は文武両道を目指します。盛んな部活動は、甲子園出場の波佐見高校野球部だけではありません。平成29年度から陸上競技部が部に昇格しました。

文化部も負けてはいません。美術部、デザイン部、陶芸部は長崎県展覧会に多くの入賞者を輩出します。地域の催し物にも積極的に参加し、波佐見陶器祭りポスターは波佐見高校デザイン部が制作しています。他にも商業クラブ、家庭部なども活発です。また部活動ではありませんが、高校生の弁論大会にも出場します。昨年は長崎県代表として、「第67回国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール」で法務大臣賞（全国2位相当）を受賞しました。今年も全国大会の出場を目指して、頑張っています。

このように部活動が盛んですが、その中核をなすのは普通科です。



(ウ) 漢字能力検定3級以上の取得に努力

普通科では特に漢字能力検定の取得を中心にした指導を行います。最低でも漢字検定3級の合格を目指し、就職試験や進学試験に活用します。資格をとることで、就職試験や進学試験に有利に働きます。

また、希望者対象ですが、実用英語技能検定なども実施しています。

2 進路

進路先についての詳しい情報は、学校案内等を参照して下さい。